

共に学び、共に遊び、共に育つことができる学び舎づくり

- 子どもの活動する場すべてが学び舎である。その中で子どもは「生きる力」を身に付ける。
学校・家庭・地域等、子どもに関わる人すべてが連携・協力し、協働して子どもたちを育てることを基本とする。
- 「人は環境によって育つ」環境（教師の指導力、外部人材活用、教室を始めとする校舎環境、教材・教具等）を整える。
- 子どもは学校の宝、地域の宝、未来の宝である。
- 教育は、「教え導き、育てること」である。
- 知・徳・体の調和のとれた人間づくりを目指す。（生きる力をはぐくむ）

1. 第三岩淵小学校の教育目標

自主性と創造性に富み人間性豊かな児童の育成を目指し一人一人の個性を生かす教育を推進する。

1. よく考えてやりぬく子ども（知）学力
2. 仲よく仕事をする子ども（徳）協力、協調、協働
3. みんなのためになる子ども（徳）奉仕
4. いつも明るいじょうぶな子ども（体）運動、食事、生活習慣

2. 目指す学校像

学校は、子ども達に意図的計画的組織的に教育を行う場である。三岩小の教育目標達成のために何が大切かを判断し、子どもの将来のための子ども中心の学校づくりをする。

①子どもが学びたくなる、明るく楽しい学校

- ・やる気がわき、わかりやすい学習
- ・規律が守られ、いじめや差別のない教室
- ・友だちや先生と遊んだり仕事ができる学校
- ・一人一人が責任をもち協力し合える学校
- ・様々な人とふれ合い、学び合い、成就感のもてる学校

②保護者や地域の方が通わせたい学校

- ・ていねいな指導で確かな学力をつける学校
- ・子どもの安全と人権が守られている学校
- ・礼儀正しく元気よくあいさつする子どもたち
- ・学校の施設設備が整備され開放される学校
- ・PTA活動に協力し地域と共に歩む姿が教職員に見られる学校

③教職員が協働し、充実感と誇りのもてる学校

- ・立場や責任を自覚して行動し、協働体制のある学校
- ・互いの情報を共有し、理解と協力のもと、組織的に対応できる学校
- ・主体性と創造性を尊重し合うとともに、自己目標を明確にし専門性を発揮する教師集団

3. 目指す教師像 モットー「明るく、元気で、親切に」

- ①児童に敬愛され、保護者・地域に信頼される教師
- ②教師の資質・能力を常に向上させようと努力する、自分に厳しい教師
- ③PDCA（計画・実践・評価・改善）を行い、児童の側に立った指導を大切にする教師

4. 今年度の取り組み目標と方策（口内は重点目標と方策）

(1) 学力向上＝基礎的 基本的な知識や技能の定着を図る教育の推進

- ①**定着度のアップ**＝定着度調査により、つまずきや定着度状況を把握→個別指導。
家庭学習（低学年20分、中学年40分、高学年60分）に見合った宿題の設定。繰り返し学習の設定。
- ②**授業改善**＝計画・実践・評価・行動(PDCA)のある分かる授業、学習規律の確保、子どもの興味関心ある教材・授業展開の工夫、交換授業・合同授業の設定、体験学習、問題解決学習等の設定。講師を招聘し、研究授業を実施。評価カードの活用。
- ③**個に応じた指導**＝少人数指導担当、学力パワーアップ講師、副担任、理科支援員等との連携・協力による習熟度別・TT等多様な学習形態の導入
- ④**授業時数の確保**＝週案簿の記入、授業時数集計による調整、届け出時数の確保。土曜日授業の実施（年間10回）。
- ⑤**施設・設備・備品を生かした教育**＝電子黒板の活用、コンピュータの活用、ビオトープ、農園、にこにこ田んぼの活用
- ⑥**人材の活用**＝PTA、地域ボランティアとの連携・協力。図書ボランティア。稲穂クラブ。
- ⑦**清潔、安全、利便性のある環境**＝施設設備の充実と美化。学校の学習環境の整備。
- ⑧**家庭との連携**＝家庭での学習習慣の確立。家庭学習の工夫。家庭での学習環境の整備。
＝読書・・・家で読書のすすめ。

(2) 望ましい生活習慣の確立＝挨拶、安全、規則正しい生活の確立を図る教育の推進

- ①**挨拶**＝管理職と日直による毎朝の校門での出迎え。校舎内での挨拶の励行。講話。
- ②**安全教育・安全対策**＝セーフティ教室、不審者対応訓練、交通安全教室の実施。全教職員による安全点検の実施。生活指導の充実。基本スキル表の活用。
正しい廊下歩行。
- ③**家庭との連携＝基本的な生活習慣の確立**・・・「早寝・早起き・朝ごはん」運動
前日に学校の用意、テレビやゲームの時間、挨拶、手伝い、親子のコミュニケーション等。生活習慣強化週間。家庭での学習習慣。
- ④**広報活動**＝学校だよりやHP他あらゆる機会を通して、子どもたちの活動やがんばりを保護者、地域に発信し、理解を深めていただくとともに、子どもたちの望ましい生活習慣について啓発。

(3) 豊かな心を育む＝心の教育の推進

道徳年間計画の見直しと授業改善。道徳地区公開講座の実施。「なかよし班活動」による学年を超えた子どもたちの多彩なかかわりの場づくり。人とのふれあいを通じた図書ボランティアによる読書活動。人権教育の推進。ビオトープや赤羽自然公園での動植物との触れ合い。

「なかよし広場」＝異学年交流

(4) いつも明るいじょうぶな子どもの育成＝体力の向上

「1校1取り組み」運動の展開（土曜授業日実施から日常化へ）。校内実技研修会による体育授業改善。体育的行事の推進。地域スポーツ行事への参加と練習機会の確保。三岩食育の推進。

(5) 学校ファミリー・幼小中一貫教育＝情報の共有化、指導の有効性、

＝幼・保→小、小→中への滑らかな接続

- ①サブファミリー校5校園（稲付中、三岩小、梅木小、清水小、うめのき幼）との教員による交流活動6回実施（小中教員の相互交流によるTT授業、情報交換、研修会等）。
- ②稲付中学校との交流（小学生による中学校への体験入学、中学生が小学校へ3日間の職場体験）。運動会における小中学生による合同演技。
- ③赤羽西保育園との交流（体験活動、給食、遊び）

(6) 特色ある教育活動＝食育、自然体験

- ①弁当の日＝年2回…献立、買い物、調理。
- ②「にこにこ田んぼ」＝赤羽自然観察公園内の水田で田おこし、代かき、田植え、かかしづくり、稲刈り、脱穀、精米→おにぎりパーティ、給食で試食。
- ③異学年交流＝なかよし班で仲よく遊んだり、給食を食べたりする。